



D-MONA を使用した VNF のモニタリング

ESC モニタリングおよびアクション (MONA) は、ESC によって展開される VNF をモニタします。精度を維持するために、ping、custom_scripts などのアクションを特定の間隔で実行します。

- [D-MONA のオンボーディング \(1 ページ\)](#)
- [D-MONA の展開 \(2 ページ\)](#)
- [D-MONA の設定 \(2 ページ\)](#)
- [明示的な D-MONA モニタリングエージェントを使用した VNF の展開 \(5 ページ\)](#)
- [トラブルシューティングのモニタリングステータス \(6 ページ\)](#)
- [VIM インスタンス間での D-MONA のリカバリ \(7 ページ\)](#)
- [D-MONA ログの取得 \(9 ページ\)](#)
- [D-MONA のモニタリングルールのリセット \(9 ページ\)](#)

D-MONA のオンボーディング

D-MONA を展開する前に、次の前提条件を満たしている必要があります。

前提条件

- ESC と D-MONA の間に接続が存在することを確認します。
- D-MONA と展開された VNF 間に接続が存在することを確認します。

展開が成功すると、D-MONA は ESC VM で実行されているローカル MONA によって監視されます。



(注) 別の D-MONA による D-MONA のモニタリングはサポートされていません。

D-MONA の展開

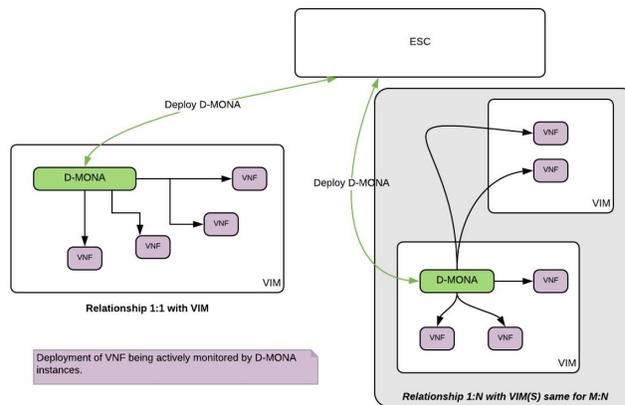
ESC 5.3 以降では、1 : 1 マッピングは不要です。明示的な D-MONA 展開をサポートします。

- このシナリオでは、複数の D-MONA インスタンスを導入できます。
- VNF は、指定したモニタリングエージェントの下に展開するか、または指定したモニタリングエージェントに移行できます。

インフラストラクチャで D-MONA を使用するには、次の手順を実行する必要があります。

1. モニタリング インフラストラクチャで D-MONA を展開します。
2. D-MONA を使用して VNF を展開し、モニタリングします。

図 1: D-MONA の展開タイプ



モニタリングに D-MONA を使用しない場合は、「[仮想ネットワーク機能のモニタリング](#)」を参照してください。

次の表に、大規模導入の D-MONA VM フレーバーを示します。

展開	VM の数	VM ごとの仮想 CPU	VM ごとの仮想メモリ (GB)	VM ごとの仮想ディスク (GB)	サポートされる VM の合計数
D-MONA	1	4	8	40	1500

D-MONA の設定

D-MONA の設定中、2 種類のランタイム動作を表示できます。1 つは一般的な ESC 展開で予想されるすべての動作を表示でき、もう 1 つは D-MONA が提供する機能を示します。

D-MONA のランタイム動作は、展開時に VM に指定されるデイズロ設定によって制御されます。デイズロ設定の詳細については、「[D-MONA Day 0 設定](#)」を参照してください。

HA アクティブ/スタンバイおよびスタンドアロンの通知 URL を指定する必要があります。ただし、アクティブ/アクティブ HA の場合、URL は展開時に自動生成または計算されます。

D-MONA Day 0 設定

次の例は、D-MONA の SSH VM アクセス設定を示しています。

```
<configuration>
  <dst>--user-data</dst>
  <file>file:///opt/cisco/esc/esc-config/dmona/user-data.template</file>
  <variable>
    <name>vm_credentials</name>
    <val>REPLACED_WITH_GENERATED_PWD</val>
  </variable>
</configuration>
```

次の例は、HA アクティブ/スタンバイおよびスタンドアロンの通知 URL を示しています。

```
<variable>
  <name>notification.url</name>
  <val>
    http(s)://xxx.xx.x.xx:xxxx/ESCManager/dmona/api/events/notif
  </val>
</variable>
```

vm_credentials は、D-MONA への SSH アクセスのために暗号化されたパスワードを管理者に渡します。

次の例は、D-MONA ESC 証明書の設定を示しています。

```
<configuration>
  <dst>/opt/cisco/esc/mona/dmona.crt</dst>
  <data>$DMONA_CERT</data>
</configuration>
```

次の例は、D-MONA アプリケーションのユーザデータ設定を示しています。

```
<configuration>
<dst>/opt/cisco/esc/mona/config/application-dmona.properties</dst>
<file>file:///opt/cisco/esc/esc-config/dmona/application-dmona.template</file>
<variable>
  <name>monitoring.agent</name>
  <val>true</val>
</variable>
<variable>
  <name>monitoring.agent.vim.mapping</name>
  <val>true</val>
</variable>
<!--Used to enable Basic Authentication for communication with the D-MONA Application.-->

<variable>
  <name>security_basic_enabled</name>
  <val>true</val>
</variable>
<variable>
  <name>security_user_name</name>
  <val>REPLACED_WITH_USER_NAME</val>
</variable>
<variable>
  <name>security_user_password</name>
```

```

    <val>REPLACED_WITH_USER_PASSWORD</val>
  </variable>

</configuration>

```

次に、CSP の D-MONA のデイズロ テンプレート ファイルの例を示します。

展開前に、適切なアクセス権限を持つすべての ESC インスタンスの /var/tmp/ ディレクトリに D-MONA のデイズロテンプレートをアップロードします。

```

#cloud-config
users:
  - name: admin          # The user's login name
    gecos: admin        # The user name's real name
    groups: esc-user    # add admin to group esc-user
    passwd: $vm_credentials
                        # The hash -- not the password itself -- of the password you
want
                        #
                        #           to use for this user. You can generate a safe hash
via:
                        #           mkpasswd --method=SHA-512 --rounds=4096
    lock-passwd: false  # Defaults to true. Lock the password to disable password login
                        # Set to false if you want to password login
    homedir: /home/admin # Optional. Set to the local path you want to use. Defaults to
                        # /home/<username>
    sudo: ALL=(ALL) ALL # Defaults to none. Set to the sudo string you want to use

ssh_pwauth: True      # Defaults to False. Set to True if you want to enable password
authentication for sshd.
write_files:
# ESC Configuration
- path: /opt/cisco/esc/esc-config/esc-config.yaml
  content: |
    resources:
      mona:
        dmona: true
- path: /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth0
  content: |
    DEVICE="eth0"
    BOOTPROTO="none"
    ONBOOT="yes"
    TYPE="Ethernet"
    USERCTL="yes"
    IPADDR="${NICID_0_IP_ADDRESS}"
    NETMASK="${NICID_0_NETMASK}"
    GATEWAY="${NICID_0_GATEWAY}"
    DEFROUTE="yes"
    NM_CONTROLLED="no"
    IPV6INIT="no"
    IPV4_FAILURE_FATAL="yes"
- path: /etc/sysconfig/network-scripts/ifcfg-eth1
  content: |
    DEVICE="eth1"
    BOOTPROTO="none"
    ONBOOT="yes"
    TYPE="Ethernet"
    USERCTL="yes"
    IPADDR="${NICID_1_IP_ADDRESS}"
    NETMASK="${NICID_1_NETMASK}"
    GATEWAY="${NICID_1_GATEWAY}"
    DEFROUTE="yes"
    NM_CONTROLLED="no"

```

```

IPV6INIT="no"
IPV4_FAILURE_FATAL="yes"
runcmd:
- [ cloud-init-per, once, apply_network_config, sh, -c, "systemctl restart network"]
- [ cloud-init-per, once, copy_dmona_config, sh, -c, "cp -RT
/media/cdrom/opt/cisco/esc/mona/ /opt/cisco/esc/mona/"]
- [ cloud-init-per, once, esc_service_start, sh, -c, "chkconfig esc_service on && service
esc_service start"] # You must include this line

```

明示的な D-MONA モニタリングエージェントを使用した VNF の展開

ESC 5.3 以降、ESC では VNF をモニタするために D-MONA 識別子を明示的に指定できます。次に、VNF を明示的に使用して VNF を D-MONA のモニタリングエージェントに展開する手順を示します。

手順

ステップ 1 D-MONA の Day 0 設定の `monitoring.agent.vim.mapping` プロパティを省略または `False` に設定して D-MONA を展開します。

次の例は、`monitoring.agent.vim.mapping` が `False` に設定されている D-MONA データモデルの Day 0 設定を示しています。

```

<configuration>
  <dst>/opt/cisco/esc/mona/config/application-dmona.properties</dst>
  <file>file:///opt/cisco/esc/esc-config/dmona/application-dmona.template</file>
  <variable>
    <name>monitoring.agent</name>
    <val>true</val>
  </variable>
  <!-- property for one to one mapping - omit or set to false for explicit VNF to
D-MONA mapping-->
  <variable>
    <name>monitoring.agent.vim.mapping</name>
    <val>false</val>
  </variable>
  <!-- property to enable basic auth in dmona. Not to be confused with basic auth
for esc -->
  <variable>
    <name>security_basic_enabled</name>
    <val>true</val>
  </variable>
  <variable>
    <name>security_user_name</name>
    <val>REPLACE_WITH_USER_NAME</val>
  </variable>
  <variable>
    <name>security_user_password</name>
    <val>REPLACE_WITH_USER_PASSWORD</val>
  </variable>
</configuration>

```

ステップ 2 展開データモデルの KPI 設定で `monitoring_agent` パラメータを指定して、VNF を展開します。

タグ `<monitoring_agent>` は、VNF をモニタする分散型 MONA 展開の明示的な識別子として使用されます。タグが存在する場合、ESC はその正確な展開名を持つ分散型 MONA 展開を探します。D-MONA 識別子は、以前に展開された D-MONA VNF を表す特定のスキームを使用して URI で指定されます。

たとえば、`dmonaName://<D_MONA_DEP_NAME>` は `<D_MONA_DEP_NAME>` を分散型 MONA インスタンスの展開名に置き換えます。

次の例は、モニタリングエージェントが指定された VNF データモデルの KPI 設定を示しています。

```
<kpi>
  <event_name>VM_ALIVE</event_name>
  <!-- specify dmona deployment name using dmonaName:// URI format-->
  <monitoring_agent>dmonaName://D-MONA-OTTAWA</monitoring_agent>
  <metric_value>1</metric_value>
  <metric_cond>GT</metric_cond>
  <metric_type>UINT32</metric_type>
  <metric_collector>
    <type>ICMPPing</type>
    <nicid>0</nicid>
    <poll_frequency>3</poll_frequency>
    <polling_unit>seconds</polling_unit>
    <continuous_alarm>>false</continuous_alarm>
    <monitoring_public_ip>>true</monitoring_public_ip>
  </metric_collector>
</kpi>
```

(注) ESC では、VNF ごとに 1 つのモニタリングエージェントしか許可されません。

トラブルシューティングのモニタリングステータス

VNF が D-MONA のモニタリングエージェントによってモニタされているかどうかを確認するには、次のコマンドを実行します。

```
curl -u username:pwd -H 'Accept:application/json'
http://localhost:8080/ESCManager/v0/api/monitoring/agents/config
```

次の例に結果が示されます。

```
{
  "a8345881-adc8-4d16-8741-9d105592c676": {
    "monitoringAgents": [
      {
        "name": "sample-dmona-10",
        "notificationUrl":
"http://172.16.235.73:8443/ESCManager/dmona/api/events/notif",
        "oneToOneMapping": false,
        "state": "ACTIVE",
        "uri": "https://172.16.235.81:8443/mona/v1/rules",
        "vimId": "OPENSTACK_VIMCONN_pf-ucs-20",
        "vnfData": [
          {
            "deploymentExternalId": "785e170c-55b5-4df7-929f-d34f052e4616",
            "deploymentName": "dmona-10-vnf-121-f2b1df6d",
```



```

        "deploymentName": "Test-dep-2",
        "state": "UNMONITORED",
        "vmGroupName": "g1"
    }
  ]
}

```

モニタリングエージェントのディザスタリカバリ

VIM が使用できないために、展開された分散 D-MONA に到達できない場合、VIM_FAILURE の理由で HealVnfRequest を送信することにより、別の VIM で D-MONA をリカバリできます。

次の手順を使用して、別の VIM インスタンスで D-MONA をリカバリします。

- 次の SOL003 の例に従って、手動で HealVnfRequest を開始します。

メソッドタイプ :

POST

VNFM エンドポイント :

/vnf_instances/{vnfInstanceId}/heal

HTTP 要求ヘッダー :

Content-Type:application/json

要求ペイロード (ETSI データ構造 : HealVnfRequest) :

```

{
  "cause": "VIM_FAILURE"
}

```

- NFVO からの許可に、D-MONA VNF を再展開する VIM を識別する新しい vimConnectionInfo が含まれていない場合、リカバリリクエストは拒否されます。
- HealVnfRequest が正常に完了すると、D-MONA VNF は新しい VIM で再作成され、以前に保持していたすべての VNF を引き続き監視します。



(注) 元の展開は、古い VIM から削除されません。古い VIM に到達できたら、以前の D-MONA を手動で削除します。

アクティブ/アクティブ HA のフェールオーバー

ESC アクティブ/アクティブ HA 展開のフェールオーバーでは、障害が発生した ESC インスタンスが所有する VNF がクラスタ内の他の ESC インスタンスに転送されます。

障害が発生した ESC インスタンスから D-MONA 展開が転送されると、モニタリングエージェント API で状態が UNKNOWN に更新されます。転送された D-MONA によってモニターされる VNF は、D-MONA モニタリングエージェントの状態が ACTIVE になると調整されます。

他の D-MONA 展開のように、転送された D-MONA によってモニターされる VNF は、D-MONA が再びアクティブになるまで、最後の既知の状態のままです。

D-MONA ログの取得

D-MONA デイゼロ設定の一部として提供された `vm_credentials` パスワードを使用して D-MONA にアクセスします。

D-MONA ログを取得するには、次のコマンドを使用します。

```
<security_user_name>:<security_user_password>
```

`ip-address` はターゲットの D-MONA の IP アドレス、`username`、`password` は D-MONA の展開時にデイゼロ設定として指定されたユーザ名とパスワードです。

すべての ESC ログの完全なリストについては、ESC アドミニストレーションガイド [英語] の「ESC Logs」を参照してください。

ETSI 関連の情報については、Cisco Elastic Services Controller ETSI NFV MANO ユーザガイド [英語] の「Monitoring VNF Using D-MONA」の章を参照してください。

D-MONA のモニタリングルールのリセット

精度を維持するために、Monitoring and Action (MONA) は `ping`、`custom_scripts` などのアクションを特定の間隔でモニタリングおよび実行します。

ローカル MONA は、ポーリングされた D-MONA プロセスの最後の既知の起動時間を追跡します。ステータスコード 200 は、要求が成功したことを示します。要求が成功すると、ローカル MONA は最後の既知の起動時間を、ポーリングされたアプリケーションから返された起動時間と比較します。DMONA の再起動時に、リカバリセットアップが自動的に開始されます。

開始時刻チェックを有効にするには、`dep.xml` で `application_startup_time` を設定する必要があります。

ただし、`application_startup_time` が存在しないか、または `false` に設定されている場合、DMONA リポートチェックは無効になります。D-MONA を展開するには、このプロパティを設定する必要があります。



- (注) 下位互換性はサポートされていません。バージョン 5.3 以降でのみ設定する必要があります。

次に、D-MONA の導入モデルの例を示します。

```
<?xml version="1.0"?>
<esc_datamodel xmlns="http://www.cisco.com/esc/esc">
  <tenants>
    <tenant>
      <name>A_tenant_name</name>
      <deployments>
        <deployment>
          <name>dmona_deployment</name>
          <vm_group>
```

```

<name>g1</name>
<image>ESC-5_3_0_31</image>
<flavor>m1.large</flavor>
<bootup_time>120</bootup_time>
<recovery_wait_time>0</recovery_wait_time>
<interfaces>
  <interface>
    <nicid>0</nicid>
    <network>esc-net</network>
  </interface>
</interfaces>
<kpi_data>
  <kpi>
    <event_name>VM_ALIVE</event_name>
    <metric_value>1</metric_value>
    <metric_cond>GT</metric_cond>
    <metric_type>UINT32</metric_type>
    <metric_occurrences_true>1</metric_occurrences_true>
    <metric_occurrences_false>5</metric_occurrences_false>
    <metric_collector>
      <type>HTTPGET</type>
      <nicid>0</nicid>
      <poll_frequency>3</poll_frequency>
      <polling_unit>seconds</polling_unit>
      <continuous_alarm>>false</continuous_alarm>
      <properties>
        <!-- Set to true to enable start time check -->
        <property>
          <name>application_startup_time</name>
          <value>>true</value>
        </property>
        <property>
          <name>protocol</name>
          <value>https</value>
        </property>
        <property>
          <name>port</name>
          <value>8443</value>
        </property>
        <property>
          <name>path</name>
          <value>mona/v1/health/status</value>
        </property>
      </properties>
    </metric_collector>
  </kpi>
</kpi_data>
[... ]
  </vm_group>
</deployment>
</deployments>
</tenant>
</tenants>
</esc_datamodel>

```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。